R8.6.5　岩船中学校・神林中学校統合推進委員会（第７回）

日時：令和８年６月５日（金）　19:00～21:00
場所：神林中学校　研修室
出席者：ＰＴＡ保護者６名・学校運営協議会２名・中学校校長１名・中学校教頭２名・区長３名・教育委員１名　合計 15 名

（開会）

（委員長挨拶）

（自己紹介）

（議題）

委員長　　それでは議題１副委員長選任についてでは、事務局から説明をお願いいたします。

市教委　　では、先ほどの自己紹介でも、ご挨拶はありましたけども、新年度となりまして３名の委員の交代がありました。副委員長も退任されておりますので、副委員長の選任をしていただきたいと思います。副委員長は、委員の中から互選するとなっております。どなたか、副委員長に立候補される方はいらっしゃいますでしょうか。

推進委員　　はい。渡邉です。副委員長に立候補させていただきます。

委員長　　ただ今、渡邉委員の方から副委員長への立候補の申し出がございました。他に立候補またはご推薦はありませんでしょうか。

推進委員　　なし。

（拍手）

委員長　　渡邉委員を副委員長にと思いますがご意義ありませんでしょうか。

推進委員　　はい。異議なし。

委員長　　はい。ご意義無いようですので、副委員長を決定いたします。それでは、副委員長決まりましたので、こちらの方に、ご移動をお願いいたします。

委員長　　就任されたという事で、一言抱負をお願いします。

副委員長　　はい。渡邉です。今日来たばかりなんですが、子供たちのためにというところで、微力ながら副委員長として努めていきたいと思いますので、皆様にいろいろと教えてもらいながら、頑張っていきたいと思います。よろしくお願いします。

（拍手）

委員長　　はい。ありがとうございました。では続きまして、その次の議題に移りたいと思います。議題の２になります。統合中学校の校歌校章選考方法についてということで、前回もいろいろ皆さんからご意見出していただいております。公募というご意見ですとか、また地域のゆかりのある方等々とご意見をいただいております。前回のことも踏まえましてですね、事務局の方で説明をお願いしたいと思います。

市教委　　はい。前回３月 13 日の統合推進委員会の中で、校歌校章の選考方法について説明させていただきまして、今回の委員会までにどのような選考方法がいいか検討していただくようにお願いしていました。まず、ご意見をお伺いしたいと思います。今回の資料のところに校歌校章の選考方法と前回の会議で出た意見という書類をお配りしてございます。表の下の枠のところですけれども、参考ということで、これまでの統合校の作者名と選考方法を表したものとなっております。この丸の数字は、上の方の選考方法についてということで、それぞれ校歌と校章の数字となっておりますけども、多くは公募かゆかりの人で、これまではなっておりました。どのような選考方法が良いかご意見の方お願いしたいと思います。説明は以上です。

委員長　　はい。ただいま説明がありました。ゆかりの方についてこういう方がいらっしゃるとか、または、公募の募集、その他、他に選考方法ありますかということで、皆さんのご意見を頂戴したいんですが、みなさんご意見がありますでしょうか。選考方法についてですね。

委員長　　特にご意見ありませんか。事務局から①②③番の校歌選考方法について出していただいている。全体的に募集していくのか、ある程度、専門家に依頼していく形がいいのか、それともその他の募集方法か。その他がないのであれば、①②から議論を絞っていった方が良いのかなと思いますけども、みなさんいかがでしょうか。その他のところで他の決め方があるというのであれば、３つで考えていきますけれども。特になければ①②のあたりで話を絞っていこうと思いますが。

推進委員　その他のところに値するのかは別として、いきなり新しい穂波中学校の校歌という形を作るのか。それとも神林中学校、岩船中学校ともに校歌を持っている訳ですけども、それらを加味した中での、それを活かした形でのものができないものか。

推進委員　前回、神林中学校の校歌の歌詞を一部変えるのも１つの案として出たかと思うのですが、その場合も新たな方を公募するという考えでいいのでしょうか。一から歌詞を作るという形になるのか、平井先生に少し直していただくという形になるのか。どちらなのか。

委員長　　２つの議論があると思うんですけど、専門家に頼む、公募するっていう、委員が言ったみたいな作り方のコンセプトというか、作り方の話になっていると思うんですけど、どっちも大事だと思うんですよね。作り方の方から入っていくと、決め方、誰かとかも当然決まってくるかと思うので。例えば、その新しい校歌がいいっていう考え方も１つですし、神林・岩船の校歌のいくつかフレーズを入れるというコンセプトで作っていくのか、神林中学校の校歌のところに例えば岩船中学校のものを入れていく考え方もありますし、その校歌の形づくりをイメージしてから決めていく方が皆さんイメージできるのであれば、先にその校歌のイメージの方を議論しても良いかなと、お二人の意見を聞いて思ったところですが、先にそこを話さないで、専門家とか、後から注文をつけていくのも難しいと思うので。跨った手法かのお話と、神林岩船の両方の校歌をうまくブレンドしたやり方か。委員がおっしゃるのは、そういったところを生かした全く新しいイメージでしょうか。

推進委員　　委員長が言われた通り、それを加味した形の文言を入れ変えたやり方ですね。

委員長　　神林の一部のところに、岩船のフレーズでいくだとか、変えていくようなイメージということか。

推進委員　　そういうふうになった場合もゼロから公募で歌詞を作っていく感じなのか。やはりおっしゃる通り、どういう形で進めるのかが先にないと、公募するのか、どうするのかというのが、ちょっと考えられないかなと思います。

委員長　　はい。ありがとうございます。そしたら皆さん、もしよろしければ先に校歌はこういう形で持っていったら良いんじゃないかっていうところを決めてから、どなたかに頼んだほうがいいのか、選考がいいのか、ということをお話ししていきたいと思いますけども。

推進委員　　例えば公募して、例えばどのぐらい来るかわからないですけど、例えば 10 個ぐらい来たと、10 個みんなこう名前を伏せて、これがいいんじゃないかっていうふうな決定の仕方をするんだよね。

委員長　　公募でたくさん来ればですね。

推進委員　　校名を決めたときも、確か生徒の皆さんに、どういう校名が良いか聞いたはずだから、似たような形で生徒に何点か選んでもらう方法もあるんじゃないかなと思うんですけど。

推進委員　　例えば 10 点ぐらい来て、最終的にはここで決めるっていう形になるのかなと思いますけど、校名と同じような決め方をすれば。

委員長　　小学生にまたアンケートを取ってということですか。ちょっと若干違うのかなって思いますけど。

推進委員　　私個人としては公募っていうのはどうなのかな。歌詞はすごく大事なもので、公募して 10 点来ました。その時点で良いのを選びましょうと言っても、たった 10 点でそんないい校歌なんて来るはずもないし、変えるとなるとその人にも当然話して変えていかなきゃならない。やはりこれはある程度のプロではないけど、地元をよく知ってる、今まで名前が出ているような方にお願いした方が良いかなと思いますね。素人がやったって、いい校歌は出てきませんよ。

推進委員　　公募する場合、作詞だけを公募して、作曲はプロに頼むという方法もありますよね。作曲できる人でないとなかなかできませんので、ですからもし公募するのであれば、作詞だけを公募して、そこに曲をつけてもらうというのもあると思います。作詞のときに、例えば岩船の港とか夕日とか、穂波とかそういう言葉を入れて欲しいなという要望を入れながらの公募もできますよね。ですけど、作詞も作曲も一緒にお願いしますねという方法ですと、なかなか厳しいのかなと思いますが、いかがでしょうか。公募の場合。

委員長　　ありがとうございます。

推進委員　　作詞するにしても、これぐらいの長さとか、それも考えなきゃいけないですよ。

推進委員　　詩を作る人に決めてもらえば良い。長くても３番まで。

推進委員　　さっきの補足ですけど、校歌にこういう思いを入れて欲しいとかっていうのを作曲する方に伝えて、それで作ってもらう。全部を公募で出すのではなくて、専門の方に作ってもらうのも良いかなと思います。

委員長　　こんな風な校歌がいいんじゃないかみたいな。ご意見ありますか？

推進委員　　俺的には公募派なんだけど。

委員長　　公募だと結構フリーになってしまうので、ある程度コンセプトとか何番までとかありますか。

委員長　　公募というのは仕様が出てくるので。出す方も選定理由、方向性がないと。丸投げはできないんですよ。

推進委員　　でも、どんなふうなのが出てくるか非常に興味ある。こっちからこういうふうに作ってねって言うとそれだけしか出てこないけど、そうじゃなくて、ある程度、新しい学校のイメージで作ってくれないかと公募すれば、言葉悪いけど、面白い、なるほどという観点から出てくるのもあるかも。実際はわからないですけど。

委員長　　最初に言ったとおり、公募に行く前の話をある程度議論してから、公募の方がいいのか、専門家がいいのかって議論をした方がいいかなと。
　新しい校歌にしても、どういう校歌がいいかっていうところも議論があるといいと思うんですよね。

推進委員　　それについては、穂波中学校にした時、こういうことでお願いしたというのがありますよね。それをまずはよく見てもらって読んでもらって感じてもらって、そこで詩を書いてもらえれば。あとそこに地域の自然だったり思いだったりを詩に書いてもらって。それは委員さんが言うのは、面白いですよ、いろんな話がでてというのは。ただそれを校歌にして、ずっと残していくっていうのは、素人ができるかできないかというと、ちょっと私は疑問に思います。

推進委員　　３月本当に大事な会議を欠席で申し訳ありません。ちょっと話がついていけなくて、ようやく理解ができてきました。やっぱりその作詞や歌詞、出てくる言葉はものすごく大事なのかなって思ってます。今岩船中学校で校歌を１番と３番で歌ってますけど、やっぱり出てくる歌詞はすごく岩船を大事にしてる言葉がたくさんあるので、おそらく神林中学校さんもですね。ただ、最低限使う言葉だけは、ここでしっかり絞り込んで、その思いのイメージとか、作曲家に依頼するにしても、こういう言葉を使いたい大事にしたいとかっていう思いだけでも、ここできちっと整理したものをもとに、例えば作曲を何人かの方に依頼するとか、仮に１人でもいいんですけど１人に依頼するのだったら何曲か作ってもらって、その中から選ぶ。その選び方は先ほど委員が言ったように生徒にも聞いてもらって絞り込むのか、校歌も校名と同じようにやっていくのかわからないんですが、言葉に関しては、やっぱりこっちで絞り込んでいかないといけないのかなとは思います。

推進委員　　関連する形ですが、委員さんがおっしゃるようなフリーっていうところもすごく魅力的だなって考えている一方で、最終的にここが決めました。そうすれば、何で決めたんだ、いや、なんか良さそうだったからというふうにはなってはいけない。

やっぱりそこに明確な基準が必要というふうになればやはり、うちの校長先生が申し上げたとおり、何か地名であるとか、ゆかりの言葉が入るであるとか、或いは何文字以内であるとか、ある程度の基準っていうのがなければ、説明がつかなくなってくると思うんですよね。俺がいいと思ったから決めたんだっていうのは、決まった理由とは、とても言えないことになると思うので、そこは1つ必要だなと思ったところでした。また、子供の意見を生かすということであるならば、子供からキーワードを募集して、こういったものを入れてもらいたいっていうのを、それを公募にするのか、どのような方に依頼するのかは別としても、できるかなと思います。

推進委員　例えばその3番まで歌詞があるとしたら、1番はやっぱり穂波中学校の情景をすごく大事にして、校名にかけた思いもあるわけじゃないですか。だから、穂波中学校をイメージした1番、各学校の思いを大事にするんだったら例えば2番を岩船をイメージした歌詞にしてもらって、3番を例えば神林のイメージですとか、いろんな言葉を大事にしていくということを思いました。

委員長　中々議論絞り切れなくて、皆さんさまざまご意見があるので難しいなと思っていますが。元の歌詞を活かすというより、ある程度キーワードでしたり、新しく作っていくようなイメージの方が非常に多いのかなと感じられるのですが。

推進委員　今の校歌の言葉を変えて継続するという話もあったと思うんですけど、それを変えるにしても、こういうことにして欲しい。今新しい方で進んでますか。

委員長　新しい方というかどういうふうにするか、まずはキーワードを決めた方が良いと。

推進委員　歌うキーワード、各地区でそれぞれ大事にしているわけなので、これを提案しようみたいな感じするならしても、それぞれの想いはあると思うので、それをあとはどういうふうに使うか。1番と3番でバラして使うのか、穂波、岩船、神林みたいにするのか分からないですけど、それからでないと

委員長　校歌はいつまでに決めるとかありますか。イメージキーワードを出して、例えば生徒まで聞いてやっていくとかなり時間を要すると思うんですけど。統合が令和10年4月に決まっていると、前の年までは決まっていないといけないとスケジュールにあると思いますけど。

市教委　校長先生方、令和10年の4月に統合となった場合、令和9年度の3学期か、2学期末にできていれば、子供達に十分練習できそうですか。最終的なリミットだと思うんですけど。

推進委員　いや、もう3学期はやれと言われれば、やります。

市教委　逆にもっと早い方がいいわけですか。

推進委員　そうは言っても結局は授業でやらなきゃいけないことはあるので、学級活動とかになるのか分からないですけども、4月に合わせてやれとなれば当然必死でやると思います。

推進委員　3学期位だとありがたいですね。

市教委　3学期を練習期間に使うとすれば、前の年の12月までに、できればいいよってい

う話になるので、作成期間を１年とるとして、今年の 12 月ぐらいには発注するっていうようなイメージ。

委員長　　来年もう１年あるわけですね。

市教委　　そうですね。やり方だと思います。作詞作曲を１人の誰かに頼むとして、１年ぐらい期間を見れば十分だろうなと考えています。

委員長　　年内にある程度決まってないといけないわけですよね。

市教委　　なので、どうしてもこの会議で結論ということではないんですけども、もう少し余裕はあるかなと。

推進委員　　今の話ですけど、公募だと今の市教委の話は、一応、どなたかプロに頼むっていうイメージでしたけども、公募の場合は、例えば 3 曲であれ 10 曲であれ、集まったものをここで揉まなければだめですよね。そのためには、歌詞だけでなくて曲も聞くわけでしょ。そのでき上がったのを逆算すると、今の話とまたちょっと時間が違う。スケジュールが変わるだろうなと。

委員長　　曲が出来たあとにもう１回審査をしなきゃいけない。

推進委員　　その審査がかなり、多分。

推進委員　　曲は公募行わないというふうに。

推進委員　　固定した方に頼むのであれば、大体もう予定は逆算して決まってきますけど、公募の場合には、かなり検討をここですることが多くなると、他の統合の話のところでも、校章だけでもかなりフィードバックして、ここで話して駄目でやり直してっていうような話が何回も続いたりしてるところもありますので、それを考えると、特にこの作詞作曲の場合は、時間はかかるんじゃないかなと思います。

委員長　　そういうやりとりの中でも、例えばこういうキーワードを入れてくださいってことは当然やりとりの中で、意見できるわけですよね。

推進委員　　その条件クリアしたとしても、また３つ４つ出てきたのを聞いて選ぶ。皆さん方の好みもあるし、注文もいっぱいまたつくと思うんですよね。その方に来週までそれを直してくれっていうような言い方は多分できないと思うので。それで多分このパターン②と①、②、こういうパターンになってしまうんだろうなという気がします。

推進委員　　平林小学校は、瀬賀さんが作ってますけども地元の方ですか。地元の方で、地元におられる方ですか。

委員長　　前回の話ですね。今は、こちらに住んでないですけど、地元出身です。

推進委員　　今の平林小学校になった時の校歌を見させてもらってますけど、フレーズ、メロディーとても校歌らしい。小学校なので中学校のとは違うのかわかりませんけども、応援歌じゃない感じの作りになっていて良いなと感じてます。地元の方であれば、こういうフレーズを盛り込んでねと言った時に、イメージは湧くのではないかと思いますし、これを盛り込んでほしいという要望もつけた中で作っていただく。

何人かから出てますけども、その意見に賛成です。

委員長　　先にキーワードとか思いの方を聞きながら進めてった方が絞っていけるかなと。時間もあるので。

推進委員　キーワードがいいかという話よりも、公募するのか、それとも誰か専門家にお願いするのかって話をした方がいいと思います。今まで、さっきも言ったけど、キーワードはどうしても話していかなければ、できないと思うんですよね。ですから、それよりも、どうやって作っていくかっていうのは、先かなと思うんですけど。

委員長　　公募の場合は作詞の方を公募にして、作曲は専門家。作詞作曲を含めて専門家に頼む、というところに至っております。キーワード、今ここで出せと言われてもすぐ出てこない。確かにおっしゃる通りですので、この資料にある①②の中で方向性だけでも決めていこうというところでございますが、皆様この方法で①②の思いがもう少しあればお聞きしながらですね、方向性を決めたいと思います。瀬賀さんというキーワードも出ています。

推進委員　専門家に頼んでしまうと、ここで議論する余地ないですよね。気に入らないからまた別の人に頼むとかそういうことにはならないよね。

委員長　　専門家に幾つか出してもらって選ぶという作業にはなると思うんですけど。

推進委員　今まで話したことがあるか分からないんですが、神林中学校の統合の時の推進委員長をやってたんですけど、その時に平井さんに校歌をお願いした経緯はこの前お話した通りなんですが、でき上がるまでに平井さんが何回もこちらに来てくださって、季節もいろんな季節に来てもらって、校歌を作詞して作曲をしてくださったと平井さんからお聞きしたんです。しかもあのときは、決まる前の段階でも平井さんの時点で、自分が 2 曲 3 曲作った上で、最初にこれがいいなと思って作った曲をもう 1 回違う季節に来て風景を見たら、この曲では合わないと思ってもう一度作り直したっていうお話を聞いて。専門家の方にもしお願いするとすれば、当然、こちらの地域の雰囲気だとか、学校の雰囲気だとかおそらく学校に込められた思いだとか、そういうのも取り入れてくださると思うんです。公募するというのも確かに地域のキーワードというか、その地域を表してる言葉とか多分あると思うので、キーワードを公募して、その公募した中から私たちがこのキーワード入れましょうって選んで、専門家の方にお願いしたらいいんじゃないかと思います。多分作詞は作詞で公募するなりして決まったとしても、曲を作る段階でその作詞をした人と、多少なりとも変更とかそういう打ち合わせは必要だと思うんです。公募するにしても、その曲全体を公募するということではなくて、配る言葉を公募する方が私たちも選びやすいのではないかなと思います。

推進委員　公募した時にその公募した曲・詩を聞いて、それに対して私たちがここ変更してくださいっていうのを伝えられるかどうかですね。全部を聞いて、ここのフレーズはこうして欲しいとか多分あると思うんですけど。それをこっち側が考えて、その人に伝えました。でも、その人はこう言われたからこう作ったんですって。こっちに責任が出てくるんじゃないかなと思ったんですね。私は今、専門家に頼むのがいいと思っていて。曲と歌詞を一人の人が一緒に作った方が、まとまりやすいのかなと思って私は 2 番がいいと思うし、さっき委員さんが言った、こういう言葉を入れて欲しいとかってものを公募してもいいんじゃないかなと思いました。公募の詩を誰かからもらったときのこっちの考えが全部伝わるかどうかがちょっと疑問だなと思いました。

委員長　　他にご意見ありますか。

副委員長　公募もそうなんですけど、できたら子供たちの意見を取り入れたいなと。例えば今、岩中の校歌にあるフレーズ・キーワード神中もそうでしょうけれども、そういう子供たちの意見をキーワードとして、公募は公募でいいんでしょうけど、同じく子供たちからの意見を吸い上げて。作り方っていうのが分からないですけど、後はプロに任せてもいいのかなと思います。

推進委員　私も同じ考えで、すごくいいなと思うんですよね。ですから、子供たちのいろんな思いを、もういっぱい資料作って、それを専門家の人に話して持っていって、それを見ながらこっちに来るんだろうし、いろんなことをやってもらって、詩を作ってもらった方が良いいのかなと思います。実際私もアマチュアですけれど、50 年近くバンドをやっていて作詞作曲やってます。やはり、詩の大切さ、そして難しさ、校歌っていうのは私にはできませんけど、簡単に素人が作りましょうかっていうのは難しいと思います。

推進委員　よこはま・たそがれみたいな感じになるんですかね。このキーワードを入れて欲しいとあれば、よこはまたそがれの様によく使われてるフレーズでそのまんま使われて。そんな歌詞でいいのか、分からないけど。作ったことないけど詩というのはその人のイメージでつくるのが一番良いような気がするんだけども。

委員長　　いわゆる専門家に頼んでもいいということで、よろしいですか。

推進委員　それはもちろん。ただ専門家に頼むと平井先生みたいに、しょっちゅう来て、ここら辺をずっと見てやってくれる人と、そうでない人もあり得るかもしれないなと思うんだけど。公募だと、様々な観点からそのとらえ方っていうのが出てきて良いのかなと思ったのですが。

委員長　　今皆さんから出ているキーワードっていうところは、子供たちと皆さんからも含めて、いただくってことはできるでしょうけど。

推進委員　さっき言ったようにキーワードを決めてしまったら、まず公募するんだったらひとまず全部オープンというか、こういう学校のイメージで作りたいといってやった方が、つくり手としては良いような気がする。

委員長　　作り手としての考えよりも委員としての考えはどうかということをききたいんですよね。

推進委員　新しい学校として一番いいやり方っていうか、皆さんの意見は様々あるけど、こっちからこうするっていうんじゃなくて、ひとまず作ってもらうというのが、俺は好きだなっていうふうに思う。

委員長　　それだとさっき言ったように審査をしなきゃいけないので、皆さん不安はあるっていうことですから、

推進委員　どこで責任とるというか、公募して生み出していくのが良いような気がする。作る人にとっては全体を自分で作って、こっちで子供らを含めた形で、一番いいのを選んでもらうのが、いい気がする。

委員長　　皆さんの意見の中で、キーワードを絞って専門家にといったご意見も多いんですけど、逆に公募は今、委員お１人の意見になってしまってるんですが、公募に賛成の方ご意見あれば。ちょっと議論が平行になってしまっているので、最後決を取らなきゃならなくなってしまって。まず公募の推薦付け足しできる方がいらっしゃいましたらご意見いただけますか。特になければ、キーワードを子供たちから広く集める中で、専門家の方にお願いした方がっていうのは意見が出てますので、そっちの方になろうかと思いますが、公募の方が良いというご意見あれば、お聞きしたいんですけども、ありますでしょうか。

委員長　　特になければ、キーワードの話は、皆さん各委員からも出てますし、専門家の話はいくつか出ていたので、キーワードはこれからだしていく。作詞作曲含めて専門家だっていうのは②という方向で進めたいということに賛成であれば挙手を願いたいと思いますが、いかがでしょうか。皆様。でも、公募の方がいい方は挙手をお願いしたいと思いますが。公募でいいという方挙手をお願いしたいと思います。

委員長　　①番。はいすいません。はい。

委員長　　②番の作詞作曲も含めて専門家の方にお願いする方、いかがでしょうか。

委員長　　では、②が多数ということで、校歌について作詞作曲は専門家の方にご依頼していくという方向で進めたいと思います。
　続けて、キーワードについて出てきましたので、どういう形をとったほうがいいのか、その辺もしご意見あればお聞きしたいのですが。

推進委員　　私は、小学生とせいぜい保護者位の範囲でいいのかなという感じはします。あんまり広げてしまうと、今風だとか、やっぱり声が聞こえてくるんですけど、でも歌っていく子たちは、今からの子たちなので、そういった子たちや保護者の方たちの思いを優先していった方が良いかなと私は思います。

推進委員　　対象のことであれば、委員の言った保護者を含めた形は賛成です。最初から私は言ってますけども、やはり岩船中学校の校歌、旧神納中学校の校歌、旧平林中学校の校歌ありましたけども、それを父兄の方は知ってるはずです。そのフレーズも加味した中での盛り込みができればというのは私の考えでした。

委員長　　キーワードの方は、学校とその保護者ということで。

推進委員　　中学生は全体でもいいのかと。例えば、やっぱりこれは残して欲しいなと、3年生なんかは思ったりするのかな。

委員長　　中学校生徒と保護者というところで対象者を絞っていくと。当然委員からもキーワードを出していただく形で。キーワードは大体１ヶ月ぐらい必要ですよね。出してから、事務局としてどうですか。

市教委　　案内して１ヶ月位で。

委員長　　一つの議論で１時間経っています。次の会議予定は９月でしたね。

委員長　　１ヶ月キーワードを募集して２ヶ月後ぐらいに集まって、今度誰に頼んでいくみたいな話をしていかないと。９月まで待つよりは、その間に７月中旬末位、キーワードがある程度出てきたあたりで１度、集まっていただくのがいいのかなと思います。

推進委員　　対象を小学生って話だったのですけど、小学校１年生、2 年生とかも対象となりますか。保護者も含めるということであれば、それはそれでいいと思いますけど。

委員長　　校名は、小学校 4 年生からでしたっけ。

市教委　　校名の付け方は、3 年生からですね、

推進委員　　児童生徒もいいんですけど、あと各両校の学校の職員の思いや願いも、今の現場でまたすぐ転勤になるかもしれませんけど、学校に寄せる思いもありますので、今の神林中は教育目標そのものもみんな入ってるんですよね。だから、やっぱり学校の職員の願いみたいなのも、アンケートの１つとして入れたほうがいいんじゃないかなと思います。いかがでしょうか。

委員長　　子供、小学生児童、中学生生徒、保護者、職員は両中学校。

推進委員　　職員は中学校の職員だけでもいいかもしれません。

委員長　　対象の件で皆さんご意見ありますでしょうか。

推進委員　　取り方として小中学校は家庭で１票みたいなイメージでしょうか。

委員長　　集め方どうしましょうかね。学校で書けというのか、あと家庭で書いてくださいと、今委員がおっしゃったように家庭で１票という形になるかと思うのですけど。

推進委員　　実際、集約の仕方で考えても、やっぱりデジタルがいいなとなったときに tetoru にフォームをつけて回収するのが一番いいと思うんですよね。それと別に子供たちということであれば、クラスルームの方にくっつけて子供たちは子供たちで１票ということもできるかとは思うんですけども。多寡にかかわらないってことであれば、もう家庭に関して１票とすれば集約はできるのかなと。しかもキーワードは幾つ載っけてもいいっていう形であれば、全部テキストマイニングにいれてしまえば、大小で出てきてくれるので。各ご家庭でも好きなだけキーワードを入れてくださいという形でやると集約しやすいのかなと。

委員長　　１人何個かの制約をしないんですよね。そうであればフォームの形の方が、生徒職員の方々も含めてですけど、集約の仕方もいいですね。

委員長　　じゃあ対象と集約の仕方と期間は１ヶ月ぐらいということで、一応次が 9 月とあるんですけども、1 ヶ月後ぐらいを目途に、もう１回、集めたものを皆さんと揉んでですね、専門家どなたにというのを決めていただこうと思いますが。校歌の方はそのように進めたいと思います。

推進委員　　それでいいんですけど、いろんな学校の校歌がありますけど、それを聞くことはできるんでしょうか。例えばホームページにアクセスすると、どこかで校歌が聞けるっていうのは、

推進委員　　全部聞けると思います。平林小学校も検索すれば歌つき歌無しメロディーだけ

推進委員　　各学校のホームページじゃないでしょう。だからあれ著作権あるから

委員長　　もし、聞きたい方があれば、事務局に聞いていただいて。

委員長　　続いて校章の方に移りたいと思います。校章は前回公募の方と専門家にイメージを提示して何件か作成してもらうということと、その他ということでご意見があるんですが、今、校歌の話もありましたけれども、例えば作詞とは違うにしても、校章に対するコンセプトというか、前回も皆さんからＡＩの話も出てきたりもしましたが、ある程度専門家に絞ったほうがいいというご意見もありました。その辺で、この①②③で議論したいと思います。校章について皆さんご意見いかがでしょうか。

推進委員　　オファーの期間によって、公募がいいか悪いかと考えます。公募１ヶ月間でなくて、もっと短いスパンから公募を準備してる方もいるかもしれませんので、公募して出てきたものを選考委員会で決めるものですから、選考委員会の中であまりよろしくないですねと専門家にお願いするという２段階式のものでも良いのではないかと考えます。公募はありきだと思います。

委員長　　専門家が最初からいて、その方が答えられたらそれでいいでしょうし

推進委員　　それなりの対価は払うわけですから。そうしたものを作っていただければ。

推進委員　　公募でも良いと思うんですけど、今もう、この2、3分でできるＡＩ時代ですから、もうその場で入力すれば、３０００種類の校章が出てくる。すぐに専門家にお願いしてもらわなくても、簡単にできる時代で大変ですよね。多分、中学生小学生の高学年、すぐかっこいいやつが出来てくるんじゃないでしょうか。それが、いいのかどうか私もなんとも言えませんけど。

推進委員　　校章については、校歌と同じような、キーワードみたいなのはやらないのか。

推進委員　　デザインだからね。

市教委　　朝日で公募したわけですけど、公募するときの資料としてこんなふうなイメージで学校が立ち上がるんです、という説明の資料をつけて公募した。

推進委員　　質問なんですけど、たぶん専門家の方に依頼すればおそらく盗作とか他で使ってるものがないかとか、チェックされると思うんですけど、公募の場合、市でチェックするんですか。

市教委　　そうですね。

推進委員　　たまたま私、作文コンクールの審査員で審査は何かそういうチェックできるソフトがあって、AIが作ったものじゃないかっていうのと、人が作ったものを盗んだものじゃないかっていうチェックができるソフトがあるような話を聞いたことがあったのですが、そういうチェックをするんですか。

市教委　　ネットで同じような校章を使ってるところがないかっていうことぐらいは確認できるんですけど、専門のチェックするようなソフトっていうのは持っていない。

委員長　　我々でチェックしなきゃいけない？

市教委　　そこは、事務局で見れる範囲では見ますけれども、完全なチェックができるかど

うか。

推進委員　校歌に出てきたキーワードをもとに専門家にお願いすれば良いのかな。そうすれば間違いないかな。そのキーワードをどれにするかっていうのは、ここで、揉むことになりますけど、校歌と校章はリンクした方が良いのかなとは思います。

推進委員　ということは校歌ができてから校章、というか同時進行。

副委員長　技術的なことは、よう分からんですけど。

推進委員　AI で作るのは駄目ってことではないわけじゃないですか。

推進委員　作った場合のチェックを事務局でしなきゃいけないということですよね。

推進委員　さっき私が話したのは作文の話なので、校章は別に AI で作るのが問題なければいいような。

市教委　AI で作ったのがどうなのかっていう気持ちもありますよね。

推進委員　確かに AI で作りましたので、なんて言えないですよね。

委員長　それを事務局でチェックしなきゃいけないんですね。専門家のものは、専門家の方がチェックしたものが出てくるっていうことで。

推進委員　そうなんじゃないかなと思うんですけど。

委員長　事務局に聞きたいんですけど、これ多分 AI で作ったものが公募で出てくるじゃないですか。出てきたものを結局データにして、ある程度、解像度も高いものにしなきゃいけない。それ作るの大変なんですよね。

市教委　朝日地区で 70 位のデータが出てきたんですが、皆綺麗なＰＤＦにしましたよね。

委員長　引き延ばしたりとか、大きいものを作ったりする時に、ある程度解像度が良いものじゃないと作れないってなったときに、事務局できますか。市役所に画像ソフトとか無いじゃないですか。これくらいの解像度で作ってくださいというのをある程度求めていかなきゃいけない。AI にしても、解像度の高いデータとして納められるって実施していかないと。実際どういうふうにデータ化していくのかという技術的なところがちょっと引っかかっています。

推進委員　前回の神納中平林中の統合の話はあまり詳しくないので分かりませんが、校名や校章は新たに作ったわけですか。

市教委　地域の出身者で有名な天文イラストレーター沼澤さん。地域のゆかりの人ということで

推進委員　何をイメージしたかっていうのはあるんですか。神中は。

委員長　白鳥でしたね。

推進委員　　真ん中に星がありますよね。

推進委員　　あれは何個かあったものを選んだ記憶があります。

推進委員　　沼澤さんが何件か作ってくれました。

推進委員　　そこから、選んだということか。

委員長　　事務局良いですか。公募の朝日の場合ですけど、出て来たものを手直ししたいとなったとき、結局、専門家がいないわけじゃないですか。

市教委　　頼めたら頼んでいます。例えば朝日の例だと、ハマナスできたんですが、朝日は昔からひまわりだから、ハマナスで出てきたものをひまわりに変えてもらえますかと、そういうことをお願いして。

委員長　　どなたに頼んだんですか。

市教委　　作者の方にです。

推進委員　　公募の絵が出てきたのは、データですか手書きですか。

市教委　　両方ありました。

推進委員　　手書きでも大丈夫なんですか。

市教委　　そのままでは駄目だと思いますけど。

委員長　　手書きだったものは、また専門家に頼んで直してもらったりしますか。

市教委　　いえ。事務局である程度カチッとしたものにしていると思います。

推進委員　　今の朝日のつけ足しですけど、美術の専門の中学校の先生などに見てもらって、例えばモノクロで印刷する場合とかいろいろありますよね。その時にどんな感じになるのか全部チェックしてもらっていたらしくて、そういうのを集約してこの委員会にかけたりしているみたいです。

委員長　　公募だと、ある程度仕様で縛ることもできるわけですか。データならデータの縛り方もできるわけですか。手書きもいいんだけど、ちゃんと画像データとしてくださいっていう。事務局で書けるというのであれば全然いいんですけど、その辺も出てくると頼み方もあると思うんですね。ある程度専門家も絞っていって、その方に何点か出していただく。公募というご意見もたくさん。もう少しご意見あれば、お願いします。

推進委員　　公募の場合も確か賞金じゃないけど、以前お話がありましたが、対象年齢がいくつでも大丈夫ですか。AI の時代なので、それこそ小学生中学生が応募してきたもので、うん十万とかで良いのかな。実例があれば。

委員長　　朝日は賞金でやってますか。

市教委　　商品はお礼の品です。

推進委員　子供さんだったんですか。

市教委　　いえ、まだ決まってないので。今まだ審査しています。

委員長　　山北小と朝日さくら小の時は、公募は、参考に出てくる。朝日さくら小、山北小の公募って書いてあるんですけど、

市教委　　①になっていますけれど、子供たちに募集したと思いますが。

市教委　　詳細は分かりません。

委員長　　お子さんで 10 万はいいのかどうなのかというご意見でしたが。

委員長　　今日は公募で行くか専門家でいくか、ある程度絞りたいと思いますけど。特段の専門家の意見がないようであれば、このまま①と②で挙手で決めていきたいと思いますが、別にキーワードはこの後決めていくにしても、①番の公募でいきたいという方いらっしゃいましたら挙手を願いますが、いかがでしょうか。

～　挙手　～

委員長　　はい。専門家にイメージを提示して何点か出してもらう方法に挙手をお願いします。はい。６ですので、私が②に入れてもひっくり返りませんので、①の公募の方で行きたいと思います。よろしいですか。

委員長　　そうしましたら、公募につけていく内容といったところで、先ほどの校歌ではないですけど、１ヶ月後のときに、情報をいただきたいんですが、イメージをある程度皆さんからいただきながら、新しい校名とか、自分たちの大事にしていきたい事とか、募集していく内容をお話していきたいと思います。事前にリストをお読みいただけると。いきなりここでは出て来ないので。ある程度、要項に入れていく画質の話とか AI が OK なのか、そういうところも含めて提出していただけると皆さんやりやすいと思います。

委員長　　②番、校歌校章については、このように進めていきたいと思います。ありがとうございます。次、議題 3 の方に移りたいと思います。令和 8 年二校会議予定についてということで、事前に皆さんに tetoru 配信してますので、見てると思いますので、何かご質問などあれば、お聞きしたいと思いますが。いかがでしょうか。

委員長　　二校会議なので、学校の方で決めていくことなので、何かを変えることはないと思いますけど、不明な点などあれば、お聞きしたいと思いますが。

委員長　　この 6 月 15 日に話し合ったあと、スケジュールだと 7 月以降、ステップって形で進めていくところで、最終的にはステップ６の 2 月 3 月の運営部会で決めて。質問ありましたらどうぞ。

推進委員　今現在、岩船中学校の場合はセーラー服（女子）なんですけども。私の子供が女の子なもんですから、問い合わせが来ました。というのはやはり、1 年 2 年しか着ない制服ということで、要するにリサイクルでもないけど、使わしてもらえればみた

いなオファーなんですけども。それに対して保護者会なりで、これから中学校にあがる人に対しての貸し出しとか、あげるのでも構いませんけども、そういった体制づくりみたいなものはできないものかと。

委員長　　二校会議というか制服の話ですか。

推進委員　　ここに制服だとかの話が出ていたものですから。

委員長　　二校会議と部会はまた違います。

推進委員　　別ですか。申し訳ないです。

委員長　　ＰＴＡの方で、実はもうある程度、話し合っています。

推進委員　　6年生の方が1年間だけセーラー服を着るという形なので、セーラー服を着て中学校に上がる時に岩中のセーラー服を買ってそのまま卒業してもいいですし、統合のタイミングで神中の制服に変える方は変えてもいいですよっていう話をしてたので、神中の制服を買うことを見据えている方がおそらく聞かれたんだと思うんですけど。ｏｈａｎａネットさんの制服バンクの方にも確認しましたら、セーラー服の在庫・学ランの在庫もあるということなので、そういうことは保護者の方に説明して一応フォローはしています。

推進委員　　引き続き、よろしくお願いします。

委員長　　今年卒業する神林中学校、岩船中学校の生徒にも、卒業するとき、お使いにならない場合はｏｈａｎａネットの方で制服のリサイクルをしてます。そこに集めていただければ、マッチングできればサイズが合えば使えるということで

推進委員　　ありがとうございます。

委員長　　二校会議の方でまた、意見ありますでしょうか。追加するようなことがありますでしょうか。

推進委員　　昨年度のお約束のとおり、進めてまいります。

委員長　　ご意見なければ、このように進めていっていただきたいと思います。よろしいでしょうか。

委員長　　はい。ありがとうございます。続きまして、4、通学方法の方針についてということで、事務局から、お願いしたいと思います。

市教委　　通学方法の方針につきまして、説明させていただきます。市の方針としましては、統合して校舎が変わる学校区の生徒はバス通学ということでしております。神林中学校で言いますと、神納中学校と平林中学校が統合したわけですけれども、平林中学校の生徒さんは現在、通年でバス通学をしております。今現在、通年バスで運行しているスクールバスが4台。冬季につきましては5台増やしまして9台で運行しています。冬季は全域をバスで運行しております。統合後の岩船中学校の生徒さんにつきましても、委員の皆さんからのご意見を伺いながら、スクールバスの運行、通学方法を検討したいと思っております。
簡単ですが、以上です。

委員長　　このことについて、何かご意見ありますか。元々の中学校はそのまま。前回、神林中学校が統合した時は、平林中学校区が全部バスになったわけです。私、松沢はここから４ｋｍぐらいなので、前の中学校は３ｋｍでしたので全然通える範囲でしたけども、バスになったわけです。

推進委員　距離ではなくて学区でやった訳ですか。

委員長　　岩船中学校さんは、これからバスなんですけど、何かご意見とか出てますか。

推進委員　特に言ってないですね。

委員長　　私の方からご意見させてください。七湊ですとか上助渕の方々から異論が出ておりまして、神林中学校に統合した時にも遠い、自転車通学なのかとご意見出ております。バスを要望したいということも聞いております。
ここには書いてないんですけど、南田中がバスに変わりました。保護者からも、そこが変わってるのに、何で変わらないんだっていうご意見を、私も直接聞いております。旧神納地区の方のバスについて考慮されていないと保護者から異論があります。それこそ熊だとかですね、先日は中学生が車で引かれる事故がありまして、ヘルメットをかぶっていたから助かったんですが、松喜和地区からもバス要望が出ております。市の原則がすでに崩れているところで保護者からは異論が出ています。今ここでどうこうするわけじゃないですけども、そういったご意見が出ております。〇〇委員さん、地元の方で何かありますかね。

推進委員　区長ということで、当地区もやはり熊とか猿とか害獣が出てますし、上助渕の方にもしょっちゅう出ています。ですから安全を考えるとやはり自転車じゃなくて、ぜひバス通で通年お願いしたいとは、区の役員も保護者もお願いしております。

委員長　　意見を集約する場は、ここ以外にあるものですか。例えば、要望書を市に書いて出すなど。そういうのを地域の方々にどんなふうにして意見をまとめればいいかというのは出てるので。手法がわからないとご意見をいただいたものですから、

推進委員　例えば、市への要望というのが年１回あるんですけど、こちらに出しても、良いんでしょうか。

市教委　　多分それで出てきている事例はあると思います。

市教委　　今週、松喜和集落の区長さんから要望書ということで届いております。

推進委員　市への要望書ではなくて、ただの要望書ですか。

市教委　　そうです。中学校と、教育事務所に要望書として出ています。

推進委員　市への要望書は８月にありますけど。分かりました。

推進委員　神林中学校に統合した時に、さきほど委員長が言っていた松沢とか、自転車で通えるのに、何で自転車対応させてもらえないのかと逆に言ってきた方もいて、その時は、松沢から平中に行くための通学路は整備されているけど、松沢から神中に来るための通学路の整備は歩道の整備とか安全面でという話をされてたので、安全面の観点からするなら、今は害獣も危険なことになっているので、そこの見直しはし

てもらったほうがいいんじゃないかと思います。再度。

推進委員　松喜和さんは高速の下のところとか、そっちは通らないかもしれないですが。

委員長　この前、事故が起きた時は、小口川から新飯田抜けてのところ

推進委員　松喜和の子は、そこから来てますよね。

委員長　そういうふうな意見があったと事務局にお伝えしたいのと、元々の地区の方のご意見を聞いてもらいたいと思います。

委員長　では次、最後その他でございますが、今までも含めて何か皆様ご意見ありますでしょうか。

推進委員　時間遅い中で、2つちょっとお話させていただきたいと思いますけども、1つ目が、次回の会議、昨年からお願いしてるんですけども、ものすごく大事な会議で何を差しおいても来なきゃいけないと思ってるんですけど、3月、案内が遅すぎて、結局予定がずらせなくて欠席させてもらった経緯があるんです。昨年度からお願いしてたんですが、できれば予定も早めに示していただきたいというのがお願いです。2点目なんですが本当に身内の話で大変恐縮なんですが、他の皆さんもお忙しい中お集まりいただいてると思うんですが、学校の事情としてお伝えしたいのが、今年度、市教委の方からは、教職員の年間の残業時間360時間に抑える方向で動いていく話が出ていて、平均すると月30時間なんですね。うちの学校ですと教頭先生って本当に忙しくて残業時間が60超えてしまうとか1月で。私も実際それで働いてきたわけなんですが、教頭先生方が体を壊されてしまうと学校が大変なことになってしまうという現状と、教頭先生の中でここから1時間かけて帰られる方もいるんです。そうすると帰りの交通事故が心配なんです。皆さんにご理解いただけたら開始時間を10分でも15分でも早めていただいて、1時間かけて帰る方もいますので、安全に帰れるようにご協力いただきたいというお願いです。

市教委　この度のご案内も遅くなりまして大変申し訳ございません。時間につきまして、開始時間ですけれども、何時頃だと大丈夫でしょうか。これまで7時でご案内してましたけれども。

委員長　私は新発田から来るので、あんまり早いと対応できないかな。6時とかは勘弁してもらいたい。

推進委員　そんなに早くしていただかなくても結構です。

委員長　6時半とかだったら。個人的には6時45分とかならなんとか来れるかなと。逆に皆さんどうですか。

推進委員　次回は、45分でいいんじゃないですか。

市教委　では、次回は6時45分でお願いします。

委員長　では、その他事務局ではありますか。

市教委　その他なんですけれども、統合だよりを2月にお出ししたきりでしたので、今回

のも含めまして、お出ししたいと思っております。

推進委員　　7月発行ですか

委員長　　アンケート取って集めると7月の上旬は無理ですね。7月の下旬でないとダメですね。

委員長　　起案も取ったりすると、7月下旬ぐらい予定でよろしいでしょうか。

市教委　　それでは調整させていただき早めにご案内をさせていただきたいと思います。

委員長　　その時に変更したスケジュールも出てくるんですね。

市教委　　そうですね。

委員長　　時間にもなりましたので、本日の議題は以上となります。ご意見いただきありがとうございました。それでは閉会の挨拶を新副委員長の方からお願いします。

副委員長　　はい。熱い議論、皆様お疲れ様でした。皆様のいろんな意見があると思うんですけれども、これも子供達のためだと思えば、ここでちゃんと本気出して検討していかないとだめなんだろうなと思いながら、また次回いろいろあると思いますが、よろしくお願いします。お疲れ様でした。